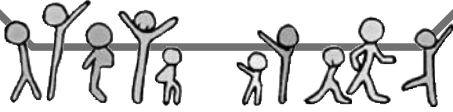


カナダでの経験

国際コミュニケーション学部2年
尾崎 康平



カナダ海外短期語学セミナーに参加して、印象に残っていることが2つある。1つめは、カナダの人々、特にキングストンの人々は日々の生活の中でのコミュニケーションが多いことである。コミュニケーションでも2種類のパターンを経験した。1つめは、バスや道路ですれ違った人と挨拶や会話をする事だ。会話はいわゆる「short talk」で、天気やテレビ番組、アイスホッケーなどのスポーツについて話した。日本人の私からすると、最初その光景は驚くべきものに感じられた。しかし実際に話してみると、想像以上に気を遣わず、カナダと日本の違いやアイスホッケーについて教えてもらったりするなど、見ず知らずの人との会話を楽しむことができた。楽しさに加え、自分の英語が通じる嬉しさと、ネイティブスピーカーの早めの英語を理解できた達成感も味わえた。2つめは、バスを乗る際に「Good morning.」、「Hello.」などの挨拶を言ったり、降りる際に「Thank you.」と



キングストンの市庁舎



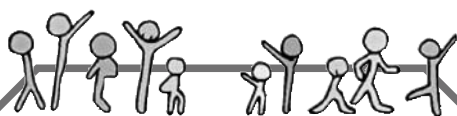
トロントで見つけたカナダのモニュメント

言ったりすることだ。日本ではあまり見かけないこういった声かけも、カナダではごく自然なことだった。郷に入っては郷に従えということわざに従い、私もバスを使うときは、挨拶やお礼を言うことにした。挨拶を言わないより言ったほうがバスを使った日は清々しく生活できたので、日本でもバスを使う際はお礼を言うよう心掛けたい。

2つめは、事前学習や人伝てに聞いた情報は鵜呑みにしないほうがいいということだ。私がホームステイ先で驚いたことは、彼らは家の中で靴を履かずに生活していることだった。西洋、欧米圏の人々は家の中で靴を履いて生活しているというステレオタイプを持っていた私にとって、このことは大きな衝撃だった。また、海外は日本と比べて治安が悪いという情報に怯えてあまり夜間に外出はしなかったが、アイスホッケーの試合を見に行った時、治安が悪いといった雰囲気を感じることはなかった。治安が悪くないから周囲に注意を払わないのではなく、必要最低限の注意をすることが大切だと感じた。これらのことから、予め得た情報を鵜呑みにすると、楽しめることも楽しめなくなり、トラブルに巻き込まれることもあると学ぶことができた。

今回の語学セミナーを通して、インターネットの情報だけでは得ることができない現地的情

報、日本にはない文化の体験、参加前より広がった視野など、今後役に立つものを多く手に入れることができた。それだけでなく、一生忘れない素晴らしい思い出ができた。これらを活かして今後の英語学習、日常生活を充実させようと思う。



ハンザ都市・ブレーメン

文学部4年 小林 裕之

ブレーメンという街を知っていますか？

ドイツ北部にあり、ドイツにある16の州のうち、一番小さな州（ブレーメン州）の州都です。人口はおよそ56万人です。

下の写真は、旧市街の中心地である、マルクト広場です。12月になると、ここではクリスマスマーケットが開催され、とても多くの地元の人、観光客がここを訪れます。



愛知大学が提携している、ブレーメン経済工科大学（Hochschule Bremen）はこのマルクト広場から歩いて約10分のところにあります。そのため、そこの学生は、授業の空き時間や授業後になると、よくここへ行き、買い物をしたりなど、それぞれが楽しんでいます。そして、ブ



レーメンと聞いて、一番に思いつくのは「ブレーメンの音楽隊」だと思います。有名な像なので、とても大きなものとイメージするかもしれませんが、とても小さく、市庁舎の横に立っています。実際に、自分もこの像を見つけるのに時間がかかりました。この音楽隊像だけではなく、ブレーメンにはたくさんの有名なものがあり、例えば、Beck'sというビール、HACHEZというチョコレート、ドイツサッカー・ブンデスリーガに所属するWerder Bremen。また、このチームには日本代表・大迫勇也選手も所属しています。

個人的には、ブレーメンは大きすぎず、1年間の留学で訪れるにはぴったりだと思います。また、ブレーメンから電車で約1時間半のところにはハンブルクというドイツ第2の都市があります。

ドイツ最大の港町でもあり、たくさんの観光客が訪れる、とてもおすすめしたい都市です。

ここで紹介できるのはごくわずかで、ブレーメン、さらにドイツにはまだまだたくさんの魅力的な場所があります。また、90日以内であればビザ無しで滞在することもできるので、短期語学留学など行きやすい国だと思います。若い時に海外を経験することは、とても有意義なものになると思うので、迷っている方・少しでも興味がある方は、「今」を充実させるためにも思い切ってチャレンジしてみてください！